

# 大智寺だより

平成 23 年 卯月  
Vol.14

発行所

大智寺

岐阜市山県北野  
668-1

電話:058-229-1532

Mail:

hybsr245@ybb.ne.jp

ホームページ

大智寺

検索

<http://www.geocities.jp/daititoukai>

今月の当紙発行には、  
山口プロパン様  
のご支援をいただきました。  
ありがとうございました。

東日本大震災に遭われた皆さまの生活が  
一刻も早く落ち着かれることを願うとともに、  
お亡くなりになられた方々のご冥福を、  
寺族一同お祈り申し上げます。



3月11日、大震災の日 あっけにとられて  
テレビにくぎ付けでした。おもちゃのように  
流される車や船、逃げ場を失い海を茫然と眺  
める人の姿、さっきまで温かい家庭のにおい  
がしていたであろう家々が簡単に押しつぶさ  
れ、見るも無残な姿へ変貌していく・・・

「岐阜だから海もないし、津波もない」と誰かがほっとしたような顔で  
話していました。「親族があっちにいる」と目を赤く腫らした方は急ぎ足  
で家に帰っていきました。「こんな時、カラオケ行く気になれない」と若  
い男性はお参りにおいでになりました。

これが映画ではなく、現実起きた自然現象だと思つと、自然とともに  
生きる私たちにとって、決して「他人事」とは片づけられません。

禅語に「我他彼此（がたぴし）」という言葉が  
あります。「戸がガタピシ言う」などと今は使  
われています。この言葉は「ゆがんでいて、調  
子よくいかない様」を意味しますが、漢字を見  
るとよくわかります。

つまり「私と他人」「こっち側とあっち側」と  
区別をし、自分さえ良ければと思つていると、  
人間関係は調子よくいかないということです。



ある人は、多額のお金や物を支援するでしょう。  
ある人は、ボランティアに行くでしょう。

…では、このお寺で何ができるか考えました。  
それは、まず大震災の犠牲となり亡くなられた  
方々のご冥福をお祈りすること—

4月より毎月第4日曜日の朝8時より、大震災  
物故者のご冥福を祈る「写経会」を開きます。  
字の上手下手ではなく、心をこめて物故者の方  
のために写経します。  
同じ気持ちで写経してくださる方を募ります。



# 広がる大智寺の輪

## 〜一期一会その瞬間〜

「卒業、おめでとういじやうます  
みんながんばってね。」

3月は別れの月。たくさんの感動をともに  
味わった友との別れは小学生でも大人でも、  
やっぱりさびしいものです。

昨年、夏のことも合宿や冬の太坐禅会でポ  
ランティアとして参加して下さった岐阜女  
子大学の3名がこの春卒業しました。わざわざ  
3月にお寺までご挨拶にお見えになり、研  
修旅行で行かれたフィンランドのお土産まで  
いただきました。

3人とも、なんの縁もなかった大智寺に対  
し、本当に良くしてくださいました。いつも  
笑顔で献身的にボランティアしていただき、  
どれだけ励まされ、助けられたことか・・・  
いくら感謝しても、たりません。

正直若おくりは、3人にかなり頼ってまし  
た。今はさびしく不安ですが、みんなが元気  
にお仕事されることを心からお祈りします。



お世話になった  
3人のうちの1人、高辻さん。  
立派な着物姿に、若おくりも涙。

岐阜新聞 3/23付 掲載



### 東日本大震災の犠牲となり、亡くなられた方の為

#### 一緒に写経をしませんか？



地震・津波によって、突然いのちを奪われた方々  
どんなに怖かったことか、どんなに悔しかったことか  
思い残すことも多かったことと思います。  
そんな方々のご冥福を、一緒にお祈りしましょう。

どなたでも参加できます  
初心者の方、大歓迎

日程：毎月第4日曜日（朝8時 本堂集合）  
～第一回目は 4月24日（日）要申込～  
費用：500円（内300円は義援金とします）  
筆ペンや鉛筆、ボールペンのご用意もあります



## 大智寺副住職 晋山式

本年度11月6日（日曜日）14時挙行

大智寺は男の子に恵まれず、次の住職はどうなるのかと、檀家の皆様には大変ご心労をおかけしていたことと思います。

ようやく本年度11月6日に副住職晋山式を行うこととなりましたので、ご報告申し上げます。



お仏飯を頂戴しながらお寺をお守りする身として、今日このように晋山式のご報告をさせていただけるのは、本当にうれしい限りです。ご存じのように副住職は京都大徳寺での修行を無事終え、大智寺に帰山してからは、多くの方々の温かいご教授をいただきながら、日々精進しております。



人と人の縁とは不思議なものです。大智寺と檀家の皆様と副住職を結ぶ縁もまた、尊い仏様のお計らいだと思います。ご先祖さまや皆さまの功德が、ありがたい仏縁を導いてくださったものと、あらためて感謝申し上げます。今後とも、どうぞお見守り下さい。



### 大智寺晋山式 稚児行列の募集

日時：11月6日（日）13時出発  
集合：一休庵（北野東）12時半集合  
対象：どなたでも参加できます  
申込：大智寺（058-229-1532）

費用等、詳細は追ってご連絡いたします。

### ～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

#### 里1号のおばあちゃん とろとろ豆乳蒸し

- ① ボールに長いものを5センチ分くらいすって、とろろにする
- ② その中に豆乳を好きなだけ入れる
- ③ さじ一杯の塩を入れ、よくかき混ぜてトロトロにする
- ④ 茶わん蒸し用の器に流し入れて、中火で蒸す（5分くらい）
- ⑤ 器を出して、ワサビとしょう油を添えて混ぜながら食べる

豆乳の量によってトロトロ加減が変わるので、いろいろやりゃー。  
茶わん蒸しと違って、スが入らんで、安心して蒸せるよ。  
液は固まらへんでね。豆や長いものは体にいいし、消化もいいよ。





## 5月5日（日）花まつり

### お釈迦さまのお誕生日

生まれて7歩歩いた後に、  
「天上天下唯我独尊」とおっしゃった  
お釈迦様に天より甘い雨が降り注ぎ、  
動物たちや草木までも喜びにあふれたと  
伝えられるお釈迦様のお誕生日。

みんなで楽しく甘茶をいただきましょう。  
5月5日（日）14時～15時  
お誘いあわせの上、どうぞおいでください



今月のついで

新年度が始まり、新しい出会いの予感がしている今日この頃。今となっては、春独特の「いいことあるかもー」という甘酸っぱい感情も、すぐに萎えてしまう・・・今年三十路を迎える若おくりです。

明日ありと思う心にほだされて  
今日もむなしく日を送りけり

これは、いつも新年度に向けて抱負を考えたり、決意を固くする時に心に刻む一休禅師の道歌です。東日本大震災の大被害を目の当たりにすると、この道歌が今まで以上に鋭く自分の中に入ってくる気がします。

「明日がある」という保証は何もないのに、私などは早くも半年も先のことを案じていたりします・・・

「明日がなくなれば」誰しも死を迎えますが、一休禅師はこう教えてくれます。

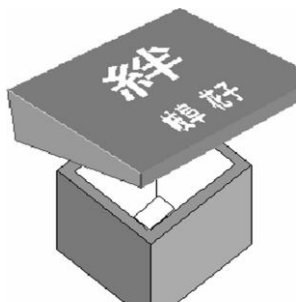
死んでから仏になるは要らぬもの  
生きたるうちによき人になれ

新年度、それぞれに新しい日々が始まります。私たちはいつも死と隣り合わせに生きていますが、だからこそ、生きている今「よき人」でありたいものです。

### 永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

・・・見学しても、どんな構造になってるかわからないけど。



筒状の納骨空間が土の中に埋まっており、底の部分は土となっているため、お骨をサラシに包んで納骨すると土に戻ります。

この納骨空間の上に墓碑を置きます。墓碑には故人の好きだった言葉など自由に彫ることができます。

完全個別永代供養墓  
1区画：25万円～  
(墓石代金含む)

#### 特色

- ◎宗教・宗派 不問
- ◎大智寺での供養内容  
月命日の供養  
春秋彼岸の供養
- ◎追加納骨 可能  
夫婦、家族でご利用可  
(追加料金 なし)